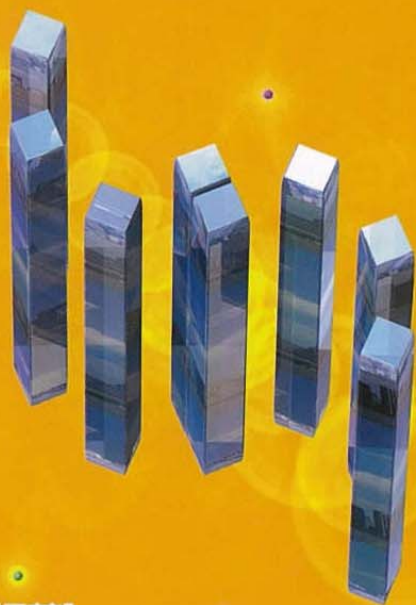


時代に新風をおくる 注目企業100社

フロンティア・スピリッツで確かな未来をつかみとれ!



Satoshi Enabe

江辺 聡 [編著]

経営理念は? そしてビジョンは?
いま、伸びる組織の原動力に迫る!

PHP研究所©定価: 本体1,300円(税別)

(株)補強土エンジニアリング

補強土工法を専門とする建設コンサルタント

株式会社補強土エンジニアリング（通称、REE COM）。これほどわかりやすい社名も珍しい。読んで字の如く、土を補強して、補強土壁を構築する技術を持っている会社だ。

同社は平成八年四月、補強土工法と軽量盛土工法の建設コンサルタントとして誕生した。

補強土壁とは、土の中に帯鋼、ジオテキスタイルなどの補強材を敷設して、土を補強する土留め構造物のことである。山道を走っている時に見かける道路脇の高い石壁などを想像していただきたい。

この工法が国内に導入されて三十年以上が経過したが、その発展には目を見張るものがあり、現在では年間五千件程度の補強土壁が全国各地で施工されている。

を得ない。なぜなら、本来最も重要である安全性や耐久性を犠牲にしてまでも、工事費を抑える工法が採用されがちだからだ。

経済性のみを追求するこのような傾向が続けば、補強土壁自体の品質が低下し、今後とんでもない事態が生じることも考えられる。だからこそ、同社の存在意義があるといえよう。

同社では「耐久性はどうか?」「現場における施工性に問題はないか?」「景観を損なっていないか?」といった補強土壁に求められる機能（安全性、耐久性、施工性、経済性、維持管理、周辺環境との調和など）すべてを考慮し、数多くある工法の中から最適なものを選択する。

それを為し得るのは、敢えて業務を絞り込み、得意分野を深く追求することによって培った経験とノウハウによるところが大きい。もちろん独立性が極めて高いことも重要なファクターである。真の「公平な工法選定」を行えるプロフェッショナル集団である。



社長
おがわのりやす
小川憲保

昭和二十三年八月二十八日生まれ。大阪府出身。平成八年四月に社長就任。
趣味—スポーツ

しかし、ひと口に補強土壁といっても三十数種類の工法があり、その現場ごとに適した工法を選定するのが適切なのだが、現状では非常に困難である。一般的な工法選定のプロセスは以下のような

- ① 代表的な補強土壁メーカー数社に対し、現場における代表的横断面図に関して、設計図及び概算工事費などの資料を提出するよう依頼。
- ② その資料をもとに、工法選定の検討。
- ③ 発注機関と協議し、工法決定。
- ④ 決定された工法の補強土壁メーカーに対し、詳細設計を依頼して工事に必要な設計図を提出してもらう。

残念ながら、この過程には問題があると言わざる

近年、アンカー工法・切土補強土工法も業務領域に加えられており、「質量ともに、今まで以上にお客様の要望に応えられる体制を築いていきたい」（小川憲保社長）と、新たな柱にも期待を寄せている。

ISO9001認証取得、さらに東京事務所も開設し、よりスピーディな顧客対応を目指す同社に今後も注目したい。

●会社データ●

本社所在地 大阪市西区西本町一六六一
カーネープレイス西本町6F
電話番号 〇六(六五三六)六七一一
ホームページ <http://www.reecom.co.jp/>
設立 平成八年四月
資本金・社員数 一千五百万円／十八名
売上高 一億七千万円
事業内容 建設コンサルタント